

令和元年度

事 業 報 告 書

社会福祉法人

郡山清和救護園

令和元年度 法人事業報告

令和元年度は、当法人が、これまで担ってきたセーフティネットとしての役割を果たしつつ、地域社会より求められる多様な福祉ニーズや期待に応えるために、次の事項について努力いたしました。

◎基本方針

- ①インクルージョン等の基本的理念の徹底
 - ②地域生活支援への取り組み
 - ③社会貢献への取り組み
- 認定生活困窮者就労訓練事業の充実
- ④福祉サービスの質の向上と人材育成
 - ⑤法人・施設の健全経営のための基盤づくり

I. 評議員会の開催

- (1) 令和元年 6月 17 日(月)・第 1 回

報告・平成 30 年度 事業報告について
議題・平成 30 年度 計算書類等及び財産目録の承認について
・理事・監事の選任について
・定款の変更について

II. 理事会の開催

- (1) 令和元年 5 月 30 日(木)・第 1 回

報告・業務執行理事並びにきらきらげんき保育園長よりの、4 月・5 月の職務執行報告について
議題・平成 30 年度 事業報告承認について
・平成 30 年度 計算書類等及び財産目録の承認について
・令和元年度 第 1 次収入支出補正予算案について
・救護施設郡山せいわ園 体育館トイレ改修工事の入札業者選定について
・きらきらげんき保育園の避難用デッキ取付について
・2019 年度赤い羽根共同募金配分金申請について
・定款変更について
・理事・監事の選考委員会の結果報告について
・新評議員について
・評議員選任・解任委員の選任について
・評議員会の日時及び場所並びに議題の決定について
・その他

- (2) 令和元年 6 月 17 日(月)・第 2 回

報告・新理事及び新監事選任結果について
議題・新理事長の選任について
・業務執行理事の選任について

- ・管理監督者の雇用期間延長について
- ・評議員選任・解任委員会の結果報告について
- ・各規則の一部改正について
 - ① 救護施設郡山せいわ園 苦情解決委員会規則
 - ② 養護老人ホーム希望ヶ丘ホーム 改善委員会規則
 - ③ きらきらげんき保育園 苦情解決委員会規則
- ・社会福祉法人郡山清和救護園 苦情解決委員会の第三者委員について
- ・その他

(3) 令和元年 8 月 20 日(火)・第 3 回

報告・業務執行理事並びにきらきらげんき保育園長よりの、6 月・7 月・8 月の職務執行報告について

- ・郡山せいわ園 体育館トイレ改修工事の進捗状況について

議題・赤い羽根福祉基金 救護施設等のセーフティネット機能強化助成事業について

- ① 今後の進め方について
- ② 交流ホールの増築について
 - ・設計業者の選定について
 - ・施工業者の選定について
- ③ 事業全体の推進のための準備研修等について
 - ・講師をおよびしての講習会
 - ・先進地施設の視察研修 他
- ④ 事業推進のための事業予算案について
- ・令和元年度 第 2 次収入支出補正予算案について
- ・各種規程関係変更について
 - ① 評議員選任・解任委員会運営細則
 - ② 経理規程
 - ③ 紹介規則
 - ④ きらきらげんき保育園給与規則
 - ⑤ きらきらげんき保育園管理規程
- ・希望ヶ丘ホームの非常用自家発電機設置事業について
 - ・工事業者の選定について
- ・その他

(4) 令和元年 11 月 8 日(金)・第 4 回

報告・令和元年度社会福祉法人上半期内部監査について

議題・台風 19 号の被害状況の中間報告について

- ① 合併処理槽の復旧事業の進め方について
- ・令和元年度 第 3 次収入支出補正予算案について
- ・各種規程関係等変更について
 - ① 就業規則
 - ② きらきらげんき保育園 管理規程
 - ③ きらきらげんき保育園 紹介規則
- ・その他

- ① 赤い羽根福祉基金 令和元年度救護施設等のセーフティネット機能強化助成事業の進捗状況について
- ② 養護老人ホーム希望ヶ丘ホームの郡山市老人福祉施設等整備費補助事業による非常用自家発電機設置事業について

(5) 令和2年2月18日(火)・第5回

報告・「福祉QC」全国発表大会の結果について

- ・業務執行理事並びにきらきらげんき保育園長よりの、下半期(10月～2月)職務執行報告について
- ・台風19号による災害復旧の進捗状況について
- ・赤い羽根福祉基金 令和元年度救護施設等のセーフティネット機能強化助成事業の進捗状況について

議題・令和元年度 第4次収入支出補正予算案について

- ・令和2年度 事業計画案について
- ・令和2年度 収入支出予算案について
- ・キャリアパス制度について
- ・社会福祉法人郡山清和救護園「にこやかサロン」実施要綱ならびにセーフティネット機能強化助成事業連絡会要綱について
- ・新評議員について
- ・その他

(6) 令和2年3月18日(水)・第6回

議題・令和元年度 第5次収入支出補正予算案について

- ・令和2年度 法人・施設の組織図について
- ・赤い羽根福祉基金 令和2年度救護施設等のセーフティネット機能強化助成事業について
- ・各種規程について
 - ① 人事考課規程
 - ② 紹介規則
 - ③ 就業規則
 - ④ きらきらげんき保育園 紹介規則
- ・評議員選任・解任委員会の結果報告について
- ・その他

III. 評議員選任・解任委員会の開催

(1) 令和元年6月17日(月)・第1回

議題・任期満了による評議員選任・解任委員について

- ・新評議員の選任について

(2) 令和2年3月3日(火)・第2回

議題・新評議員の選任について

IV. 監査会の開催

- (1) 令和元年 5月 20日(月)・21日(火)・第 1回
平成 30 年度 法人本部及び施設の事業報告ならびに会計等資金収入支出決算についての、監査の実施。
- (2) 令和元年 10月 30日(水)・11月 1日(金)・第 2回
令和元年度前期 各施設の事業推進の進捗状況及び会計等についての、監査の実施。

V. 会議の開催

- (1) 法人内施設長等会議
- | | |
|------------------|------------------|
| ①令和元年 5月 29日(水) | ②令和元年 6月 27日(木) |
| ③令和元年 7月 29日(月) | ④令和元年 8月 19日(月) |
| ⑤令和元年 9月 24日(火) | ⑥令和元年 12月 24日(火) |
| ⑦令和 2年 1月 17日(金) | ⑧令和 2年 2月 17日(月) |
- 計 8回

VI. 事業の推進

1 第一種 社会福祉事業

- (1) 救護施設 郡山せいわ園の経営
- ・救護施設居宅生活訓練事業の実施
 - ・保護施設通所事業の実施
 - ・保護施設一時入所事業の実施
- (2) 養護老人ホーム 希望ヶ丘ホームの経営

2 第二種 社会福祉事業

- (1) 障害福祉サービス事業の経営
- ・グループホーム「みんなのいえ」の経営
- (2) 老人福祉法に基づく老人居宅介護等事業の経営
- ・希望ヶ丘訪問介護事業所の経営
- (3) 児童福祉法に基づく小規模保育事業の経営
- ・きらきらげんき保育園の経営

3 公益を目的とする事業

- (1) 希望ヶ丘居宅介護支援事業所の経営
- (2) 認定生活困窮者就労訓練事業の経営
- (3) 特定施設入居者生活介護事業の経営

4 中間的就労支援事業について(認定生活困窮者就労訓練事業)

本事業の実施にあたっては、中間的就労支援システムに基づき、利用者の方に合わせた支援形態で次のように取り組み支援しました。

<令和元年度 中間的就労支援 事業実績>

	郡山せいわ園	希望ヶ丘ホーム
相談件数	1 件	0 件
実施者数	5 名 (無償ボランティア:3 名) (有償ボランティア:2 名)	4 名 (無償ボランティア:0 名) (有償ボランティア:4 名)

令和 2 年 3 月 31 日現在

5 働きやすい職場づくりをめざして

職員の仕事の効率化を図り、仕事内容の見直しなどを行い退勤時間の徹底、夜勤専用職員の増などをはかり、夜勤回数などの軽減に努めました。

6 職員研修等の充実

福祉サービスの質の向上と職員育成を目的に、今年度も、職員研修プログラムにそった研修を行うとともに、カイゼン活動にも努力しました。なお、福祉 QC サークル活動については、第 30 回「福祉 QC」全国発表大会において、救護施設 郡山せいわ園ならびに養護老人ホーム希望ヶ丘ホームが、全国の皆様方より高い評価をいただきました。

7 台風 19 号における被災について

令和元年 10 月 12 日～13 日にかけての台風 19 号により、郡山せいわ園脇を流れる桜川堤防が崩壊し、当施設の合併処理槽制御盤ならびにフェンス、駐車場等が被災しました。合併処理槽制御盤は、郡山市より令和元年度台風 19 号に係る社会福祉施設等災害復旧補助事業により、復旧工事が完了いたしました。現在、福島県による護岸工事が進行中です。

8 赤い羽根福祉基金 救護施設等のセーフティネット機能強化助成事業の取り組みについて、次のように行いました。

(目 的)

中央共同募金会様よりの助成にて、地域社会の中でひきこもりや何らかの支援を必要とする方々に対して、安心できる居場所づくりを提供する。

(実施内容)

- ① 養護老人ホーム 希望ヶ丘ホームの居場所づくりのための交流ホール増築工事。
- ② 秋田県藤里町への先進地視察研修ならびに明治学院大学の新保美香先生をお迎えしての勉強会等の実施。
- ③ 地域協力者、法人役職員等による連絡会の実施。

以 上

令和元年度 郡山せいわ園 事業報告

本年度も基本理念である“地域のなかで、地域とともに、自分らしくいきいきと”をふまえて、当施設の“利用者の皆さん本位のサービスの提供”と地域の皆さんに“信頼される施設づくり”をテーマに鋭意努力してまいりました。さらに、施設利用者の皆さん及び地域の皆さんに“しあわせ・よろこび・満足”そして、“信頼”をいただける施設経営及び福祉サービスの提供を目指し、次の諸事業を実施いたしました。

☆重点事項☆

1 生活自立支援について

今年度も“生活自立と生きがいの確立”を基本目標として、“個別支援計画書”に基づき、利用者の皆さん一人ひとりの意向を尊重して、多様なニーズを踏まえたサービスを提供するために、次のような支援・援助を行いました。

- (1) 利用者の皆さん一人ひとりの能力に応じたグループ別の生活支援や作業訓練等を通じて、毎日の生活が元気に送れるよう支援しました。
- (2) 利用者の皆さんのがんばりや高齢化等による身体機能低下の回復・維持・予防のため、毎日の歩行運動や理学療法士の指導のもとリハビリに努めました。
- (3) 地域社会との交流活動を積極的に進め、利用者の皆さんのが社会参加への意義と喜びを見いだせるよう支援しました。
- (4) 虐待に対する意識を高め、常に利用者の皆さん的人格や権利を尊重し、安心・安全に生活が送れるよう支援しました。
- (5) 心のケアを必要とする方々に専門職による個別面談（ホットサロン）や嘱託医との連携を密にし、安心して心おだやかに生活が送れるよう努めました。
- (6) 地域貢献に積極的に取り組み、地域社会の福祉のニーズに応え、より一層地域に根ざした施設運営ができるよう努めました。

*実施した主な行事は次の通りです。

4月・お花見（1班、2班、3班にて）を新潟方面及び会津喜多方方面と希望ヶ丘ホームにて実施

5月・端午の節句

- ・白岩小学校さん、東芳小学校さん、宮城小学校さんの運動会に参加

6月・わらびとり

- ・宮城小学校さんとの交流会
- ・日本電産コパル労働組合さんとの交流会

- 7月・福島県退職公務員連盟郡山支部女性部の皆さんとの交流会
・三菱電機労働組合さんとの交流会
・サマーフェスティバル in せいわ（夏祭り）
(パナソニックデバイス労働組合さん等のボランティアをいただく)
- 8月・供養祭(お盆)
・納涼祭
・不帰省者一泊旅行（1班）
- 9月・宮城小学校さんとの交流会
・不帰省者一泊旅行（2班）
・富久山町社会福祉少年団さんとの交流会
・敬老会
・供養祭(お彼岸)
・小泉小学校さんとの交流会
- 10月・芋煮会
・東芳小学校さん、宮城小学校さんの学習発表会に参加
- 11月・白岩小学校さんの学習発表会に参加
・白岩小学校さんとの交流会
・秋の旅行
- 12月・郡山北ライオンズクラブさんの餅つきご慰問
・久保田保育所さんのお楽しみ会に参加
・クリスマス会
・希望ヶ丘ホームさんのクリスマス会にご招待いただきました
- 1月・新年会
- 2月・節分
・不帰省者一泊旅行（1班・2班）
- 3月・ひなまつり

2 健康にすごすために

- (1) 利用者の皆さん一人ひとりに健康の大切さを理解していただき、心身ともに充実した日常生活を送れるように身体不調時の早期発見・治療に努めました。
- (2) 嘴託医や協力医療機関等の多職種との連携のもと健康維持に努めました。
- (3) 年度当初、感染症（ノロウイルス・インフルエンザ）が発症しましたが、感染が拡大することなく、短期間で終息することができました。

3 おいしく楽しく食事をするために

“健康で楽しい食事”を目標とし、献立作成には創意工夫・改善を加え、旬の素材を

使用し、行事食を取り入れながら、自然の恵みや四季の変化を利用者の皆さんに食を通して感じ、楽しんでいただきました。

(1) 安全に食事をするために

- ・利用者の皆さんに温かく・おいしい食事を召し上がっていただくために保温食器を使用しております。また、日々変化する利用者の皆さんの身体状況を把握し、ソフト食やミキサー食など4通りのきめ細やかな食事形態を準備し、安全に食事を召し上がっていただけたよう努めました。

(2) 楽しく食事をするために

- ・「おいしい食事をつくる委員会」を通して、利用者の皆さんのが生の声を献立作成に活かせるように努めました。また年2回嗜好調査を実施し、献立を工夫して、食事の時間がより楽しくなるように努めました。
- ・“オーダーメニューの日”や“赤ちょうちんの日”、さらに“パンバイキング”“リザーブ食”等を準備し、日々の食事がより一層楽しくできるように努めました。

(3) 非常時の食事訓練について

- ・非常災害発生時に備え、常に適正な食事が行えるように非常食の確保(5日分)と食事訓練を行いました。

4 期待される施設をめざして

“利用者の皆さんに・地域社会の多くの人々に信頼される施設づくりを目指して”より一層の施設機能充実のために、次の事項に努めました。

(1) 福祉サービスの質の向上について

「お客様に満足を 仕事に喜びを」のテーマのもと、虐待防止委員会や改善委員会等、活発な各種委員会活動を通して、福祉サービスの質の向上に努めました。

(2) 災害防止について

今年度も様々な非常災害を想定した避難訓練を実施し、利用者の皆さんと職員に対して危機意識の啓発を行ないました。また、防災設備の保守点検や火気取り締まりの徹底を図りました。

さらに、職員の防災意識や防災に対するスキルアップを図るために、これまでに17年連続参加している郡山地区自衛消防操法大会では、2人操法・2号消火栓の部で、“優勝”的成績をおさめることができ、利用者の皆さん安心・安全・安寧に繋がりました。

(3) 地域にねざした施設づくり

地域老人クラブの皆さん並びに地域小学校の児童の皆さんとの交流に努めるとともに、地域公民館主催の文化祭の行事等に積極的に参加して、交流を図りました。

また、施設行事の案内や施設設備や機能の開放等を行い、地域福祉推進の拠点としての一翼を担うべく、積極的な地域貢献に努めました。

(4) 職員の資質向上について

- ・福祉QC活動に取り組み、業務のカイゼンを行うとともに、職員の資質の向上に努めました。第6138回QCサークル東北支部総合大会では、“大会賞”ならびに“感動賞”を受賞することができ、また、第30回「福祉QC」全国発表大会では、“優秀賞”ならびに“感動賞”を受賞するなど、全国の多くの方々から高い評価をいただきました。
- ・職員の専門性をより高めるために、職員の国家資格等の取得を奨励した結果精神保健福祉士が1名誕生しました。また、全国救護施設研究協議大会や東北地区救護施設研究協議大会への参加、および福島県社会福祉協議会研修センター主催の各種研修会等に職員を参加させました。
- ・養護老人ホーム希望ヶ丘ホームならびにきらきらげんき保育園との行事時等の職員間交流を通して、職員間の情報の共有化と資質の向上に努めました。

(5) 救護施設居宅生活訓練事業並びに保護施設通所事業・保護施設一時入所事業の充実について

利用者の皆さん地域生活移行の推進を積極的に図るため、救護施設居宅生活訓練事業並びに保護施設通所事業・保護施設一時入所事業の更なる充実に努めました。

(6) 生活困窮者の支援推進と地域貢献（中間的就労支援事業）

中間的就労支援事業を開始して5年になりますが、令和元年度は3名の方に支援させていただきました。

また、明治学院大学社会学部教授 新保美香先生においでいただき、生活困窮者の方々や地域の引きこもりの方々に対する相談援助活動のあり方等についての勉強会を行ないました。

(7) ホームページ等による情報提供及び事業紹介に努め、施設の活動内容をタイマリーに発信し、地域社会の多くの方々へ郡山せいわ園を理解いただくように努めました。3月31日現在のホームページへのアクセス件数は、186,000件を越えました。

5 予算経理について

予算の執行については、限りある予算を厳密に検討し、効率的な運用に努めました。

令和元年度 居宅生活訓練事業 事業報告

1. 事業内容

本事業の実施にあたっては、事業の対象者の状況に応じ、継続して居宅において生活できるよう、次のことがらについて、あらかじめ訓練計画を定め、効果的に行いました。

平成31年4月1日から令和2年3月31日までの一年間、郡山市富久山町陣場にて男性3名の利用者の皆さんに支援させていただきました。その結果、だいぶ地域生活に馴染んで来られており、2名の利用者の方がもう少し訓練事業を継続して、地域生活移行が可能になると思っています。

(1) 日常生活訓練（日常的家事・食事・洗濯・清掃等）

・食事について

朝・夕の食事を郡山せいわ園から配食し、居宅にて配膳の訓練を行い、訓練段階に応じて、炊飯訓練を随時行いました。自立生活を行なう上で必要なスキルの向上を目指すとともに、栄養面に留意し、生活習慣病や肥満の予防に努めました。（昼食は通園し、郡山せいわ園にて摂っていました）

・日常的家事、洗濯、清掃等について

清潔で健康な生活を保つために、洗濯や清掃等。定期的な身辺の衛生管理が自発的に行えるよう支援しました。

(2) 社会生活訓練（公共交通機関の利用・地域行事への参加等）

公共交通機関のバスを利用し通園しました。また、交通面での危険予防、回避が行えるよう支援し、交通安全に努めました。

(3) その他自立生活に必要な訓練（健康管理に関する訓練等）

- ・通院等については、郡山せいわ園が支援し、服薬については、担当職員が段階に応じて、お薬を手渡し、自己服薬を行えるよう支援しました。
- ・緊急時等の対応について、日常的に火気取り締まりの徹底を行い、災害防止の意識を高めていけるよう努めました。また、上手に電話を使用できるよう支援し、定時連絡や緊急時の連絡を行えるようにしました。

(4) 職員の資質の向上について

各種研修会等に積極的に参加し、職員の資質の向上に努めました。

令和元年度 保護施設通所事業 事業報告

1 事業内容

郡山せいわ園への通所による生活支援・生活訓練等の実施（通所訓練）と職員の居宅等へ訪問による生活支援の実施（訪問支援）を一体的に行い、男性3名、女性6名に利用していただき、安定した地域生活が送れるよう支援しました。

（1）通所訓練

① 生活相談支援ならびに作業訓練支援について

安心して地域生活を送るために、利用者の方に寄り添って問題を解決出来るよう支援し、困りごとや不安な事についての相談を受けました。また、ボールペン組み立て作業等を行うことで、責任感を持って仕事に取り組み、生きがいある生活リズムが確保出来るように支援しました。

② 健康に関する支援ならびに食事サービス支援について

郡山せいわ園の看護師と連携をはかり、通院支援や健康管理を行うとともに、体力トレーニングを行ない体力の維持向上に努めました。また、健康を考えた栄養バランスの良い食事の提供と助言を行うとともに月2回、調理支援を実施し、郡山せいわ園の管理栄養士の助言の下、献立の上手な作成と調理技術の向上を目指し支援しました。

③ 外出支援ならびに学習支援について

買い物の仕方や、公共の場所でのマナーを身に付けるために、地元のスーパー等に公共交通機関を利用して外出し、日用品の買い物を行ないました。また、お金の計算や字の読み書き、時計の見方等、地域で生活する上で必要な知識を身につけられるように支援しました。

（2）訪問支援

① 生活支援について

清潔で安全な生活ができる様に、衛生・環境の整備や身だしなみの支援等、生活全般についての助言・援助を行いました。

② 相談支援について

個人面談を行い、生活面での困りごとや、悩んでいる事について相談支援を行っています。地域で安心して生活できる様に助言や援助を行いました。

令和元年度 保護施設一時入所事業 事業報告

1 事業内容

本事業の実施にあたっては、施設を短期間ご利用いただくことで、精神状態の安定を目指した支援を行い、居宅生活の継続、退院から居宅生活へのステップ、あるいは体験利用による施設生活から居宅生活へのステップへとつなぎました。

今年度は、2名のご利用がありました。

(1) 日常生活支援

体調の回復と栄養バランスを考慮した食事の提供に努めました。また、入浴や衣類交換等の支援を通して、清潔で健康な生活が送れるように努めました。

(2) 健康への支援

一日3回の検温、必要に応じて、通院の付き添いや服薬支援を行ない健康管理に努めました。

(3) 他利用者の方とのコミュニケーション

よりよい人間関係が築いていけるように、必要に応じて他利用者の方との関わりについて支援しました。

2 健全な管理・運営

的確な支援が出来るように各種研修会等に積極的に参加し、福祉サービスの質と職員の資質の向上に努めました。

※令和元年度のご利用者は次の通りです。

性 別	年 齢	期 間	措 置 機 関
女性	71歳	令和元年 9月 11日～令和元年 10月 10日	郡山市
男性	56歳	令和2年 1月 7日～令和2年 2月 6日	勿来・田人地区 保健福祉センター

以上2名の方にご利用いただきました。

令和元年度 グループホーム「みんなのいえ」事業報告

グループホーム「みんなのいえ」を利用されている皆さんに、地域社会において、円滑に潤いある自立した生活を送ることを目標に、次の諸事項を実施いたしました。

1 利用者の相談支援について

利用者の皆さんの日常生活において、サービス管理責任者を中心に、生活全般に関する相談支援を行いました。また、バックアップ施設の郡山せいわ園による苦情解決システムも活用して連携を図り、迅速な対応に努めました。

2 健康と食事の支援について

利用者の皆さんの希望とバランスの取れた献立を予算内で作成し、世話人が一緒に調理を行い支援することで、生活習慣病予防や肥満の防止に努めました。また、毎日の健康を維持するために必要な事柄（体温チェック・外傷の処置等）について、隨時世話人と連携を図り、支援しました。また、新型コロナウイルスを含めた感染症予防として、うがいと手洗いの励行、外出時のマスクの着用と帰宅時の手指の消毒の徹底を図り、支援に努めました。その他、バックアップ施設である郡山せいわ園の栄養士・看護師と連携を図り、通院支援の他、定期的な健康診断や予防接種の支援も希望にて行い、健康な生活を送れるよう支援しました。

3 外出や外泊の支援について

地域における自立生活の向上を目指し、市内ショッピングや旅行を企画し、利用者の皆さんに交通機関等の社会資源を活用していただき、実体験的な支援に努めました。また、外出や外泊についてご家族等の方々と連絡調整を行い、交流が図れるように支援しました。

4 地域生活等の支援について

個々の趣味等の幅を広げていただけるように情報提供を行い、充実した潤いのある社会生活が送れるように支援しました。また町内会活動にも参加させていただき、クリーン活動等を通じて地域の皆さんと交流を図り、地域社会の一員として生活が送れるよう、隨時支援しました。

5 緊急時の対応について

災害防止についての意識の向上を目指し、定期的な避難訓練及び防火設備の保守点検を行い、利用者の皆さんに安心・安全にご生活いただけるように努めました。また、バ

ックアップ施設の郡山せいわ園との連携を強化し、病気や災害等の緊急時には迅速に対応できるよう、連絡体制等を明確に整備し支援しました。

6 バックアップ施設との連絡調整について

利用者の皆さんお一人おひとりに合った個別支援計画に基づき、生きがいや希望を持ってご生活いただけるよう支援しました。また、日中通所している郡山せいわ園と連携を密に図り、交流会等への参加を通じて地域社会とのつながりを図っていただきました。

7 財産等の日常生活に必要な援助について

財産等については入居時に利用者の皆さんの意向をふまえ、財産等を委託される場合には原則的にサービス管理責任者が担当するようにし、その適切な管理に努めました。利用者の皆さんの収支については承諾を得て銀行手続き等を必要時に代行し、適正な支援を行いました。またその他の必要な手続き等も同様に、隨時行いました。

8 職員の資質の向上について

研修会等に積極的に参加し、利用者の皆さんにより良い支援を提供できるよう、資質の向上に努めました。

名称	定 員	利用人数
みんなのいえ	4 名	4 名
みんなのいえ久保田	5 名	5 名
みんなのいえ陣場	3 名	3 名

令和2年3月31日 現在

令和元年度 希望ヶ丘ホーム 事業報告

当施設は、“利用者本位のサービスの提供”と“信頼される施設づくり”をテーマに次の諸事項を通して、利用者の皆さん及び地域の皆さんに“しあわせ・よろこび・満足”そして“信頼”をいただける施設運営及び福祉サービスの提供を目指し、鋭意努力してまいりました。

☆重点事項☆

1 毎日を心豊かに自分らしくすごすために

利用者の皆さんに、地域での生活とできるだけ違いのない生活条件を整え、すべての人が安心して生活でき、毎日を心豊かで健康に、そして自分らしくすごせるように次の通り努めました。

- (1) 利用者の皆さんの個別支援計画（新型養護老人ホームパッケージプラン）に基づき、毎日を心豊かに自分らしくすごしていただくために必要な支援を行ないました。
- (2) 利用者の皆さんのが参加するクラブ活動や各種行事、レクリエーション等を通して、楽しく明るい生活が送れるよう支援しました。
- (3) 利用者の皆さんの自治会活動をより活性化するとともに、各種委員会に参加いただき、利用者相互の連携と親睦を図るとともに、利用者の皆さん方の声を大切にし、豊かで潤いのある生活が送れるよう支援しました。

*実施した主な行事は次のとおりです。

- 4月
 - ・お花見
 - ・龍神舞の皆さんとのよさこい踊りのご慰問
- 5月
 - ・端午の節句
- 6月
 - ・ミセス・グレース田中恵子ご夫妻のピアノの演奏ご慰問
 - ・郡山キリスト共同教会さんのご慰問
 - ・郡山市シルバー人材センターさんの植木剪定ご慰問
 - ・健康まつり
- 7月
 - ・桑野大正琴クラブさんのご慰問
 - ・音楽交流会
 - ・ご家族とのお話会
- 8月
 - ・盆踊り前夜祭・後夜祭
- 9月
 - ・郡山市鍼灸按マッサージ師会さんのご慰問
 - ・郡山市理容組合青年部さんのご慰問
 - ・メガネの相沢さんのご慰問

- ・第40回敬老の日おたよりコンクール作品贈呈式
 - ・敬老祝賀会
 - ・桑野フラダンスクラブ・フラ・ティアレの皆さんのご慰問
- 10月・第30回福島県養護軽費老人ホーム・ケアハウス連絡協議会 輪投げ大会
(台風19号の影響の為、中止)
- ・一泊旅行
- 11月・芋煮会
- 12月・らーめん幸司さんのラーメンご慰問
- ・福島県理容生活衛生同業組合郡山支部女性部さんのご慰問
 - ・クリスマス・忘年会
- 1月・新年会
- ・団子ならし
- 2月・節分
- 3月・総合防災訓練
- ・ひなまつり

2 健康にすごすために

- (1) 利用者の皆さんに“健康にすごすことの大切さ”を理解していただき、その方らしく日常生活ができるよう定期的な健康診査(5月・10月)等の充実を図り、健康管理に努めました。また、日々の啓蒙活動を通して、健康への意識を高めていただきました。
- (2) 嘸下機能の維持向上を目指し口腔体操、歩行訓練等のリハビリを通して、利用者の皆さんのが健康的に生活できるよう支援しました。
- (3) 専門職種(嘱託医や理学療法士等)に週1回来園いただき、利用者の皆さんのが健康維持が図れるように支援しました。
- (4) 嘴託医による健康講話等を年4回実施し、利用者の皆さんに健康の大切さを理解していただき、穏やかに生活していただけるよう支援しました。

3 おいしく、楽しく食事をするために

- (1) おいしい食事を安全に楽しく食べていただくように、環境整備や衛生管理等に努めました。
- (2) 利用者の皆さんのが満足度アップを目指し嗜好調査を年2回実施し、麺類の提供時間を早くしてほしい等のご意見をいただき、それぞれの要望の改善に努めました。
- (3) 月1回の食事委員会等を通して、普段の食事や行事食等に利用者の皆さんのが嗜好や要望を取り入れて食事に反映し、より良い食事のサービスの提供に努めました。
- (4) 非常災害発生時に備え、常に適正な食事が行えるように非常食の確保(5日分)と食事訓練を行いました。

4 家族および地域社会との交流のために

- (1) 各種施設行事への家族の方々の参加の促進と、身元引受人（32組）の皆さんとの情報交換を行ない、家族との外出・外泊・面会等を通して、交流を深めるよう支援しました。また、来園されなかつたご家族には、広報誌等を送付させていただき、利用者の皆さんの状況を報告させていただきました。
- (2) 地域社会との交流（郡山第6中学校のボランティアクラブの皆さん・各種ボランティアとの交流、地域行事への参加および、施設行事、クラブ活動への参加の呼びかけ等）を積極的に促進したことで、地域社会の皆さんとの心のふれあいを育てました。
- (3) 実習生（12名）を受け入れ、施設への理解・関心等がさらに深められる様に努めました。
- (4) 利用者の皆さんのがんばりの体調面や精神面の変化等に応じ、行政機関や家族等との連携を密に図り情報の共有に努めました。

5 安心してご生活いただくために

- (1) 利用者の皆さんのがんばりの身体・生命の安全を最優先とし、非常時に備えた定期的な諸訓練（自衛消防操法等）を通し、災害（事故）防止に努め、環境整備の強化を図りました。また、令和元年10月3日に行われた第49回 郡山地区自衛消防操法大会に出場し、3人操法1号消火栓の部で30チーム中「準優勝」の成績を収めることができ、利用者の皆さんのがんばりの安心・安全・安寧につながりました。
- (2) 福島県災害派遣福祉チームの活動等に参加し、大規模災害に対応する体制を構築するとともに、災害発生時の福祉避難所としての準備物の確認をしました。
- (3) 地域のセーフティネット機能を有する施設として、DVや高齢者虐待等などの緊急避難者（1名）の受け入れを行い、心のケアを必要とする方々（4名）の受け入れを積極的に行って、様々な福祉ニーズを抱えた利用者の皆さんのがんばりの安心、安全、安寧に自分らしく生活出来る体制作りに努めました。

6 地域社会から必要とされる施設を目指して（生活困窮者等の支援推進と地域貢献）

- (1) 養護老人ホームが特定施設入居者生活介護施設として2年目を迎える利用者の皆さんの介護サービスの充実を図り、年間平均（約22名）にご利用いただきました。
- (2) 生活困窮者等に対し、施設が中間的就労支援等の機会を提供し、就労に必要な知識及び能力の向上を目指すと共に、法人・施設の社会的役割や地域貢献、そして、地域社会とのつながりを図りました。また、法人本部と連携し、生活困窮者等への支援の拡充に努めました。
- (3) 要支援・要介護状態の利用者の増加や多様なニーズに応えるためにサービス事業所と密に連携を図り、利用者の皆さんへ質の高いサービス提供に努めました。

- (4) 地区民生児童委員や各高齢者あんしんセンター、地域の老人クラブや消防団等と連携を図り、地域ニーズの把握に努めました。
- (5) 郡山市更生園、希望ヶ丘学園、希望ヶ丘保育所、郡山市希望ヶ丘児童センター、きらきらげんき保育園との交流を図り、連携等の強化に努めました。

7 将来を担う職員の育成について

- (1) 職員の面談を行い、法人施設の将来を背負ってくれる活力ある職員の育成に努めました。
- (2) ジェントルティーチング等の理念を基底とし、利用者の皆さんへの質の高い福祉サービスの提供に努めました。
- (3) 福祉 QC サークル活動を積極的に推進し、業務のカイゼンをはかるとともに、職員の資質の向上に努めました。また、「福祉 QC」全国発表大会に出場し、敢闘賞・感動賞を受賞するなど、全国の多くの方々から高い評価をいただきました。更に他法人合同の「福祉 QC」発表大会等に積極的に参加し、職員の育成に努めました。
- (4) 職員の専門性をより高めるために、職員の国家資格等の取得を目指す職員に対して、全職員でバックアップし、奨励しました。
- (5) 老施協主催の全国老人福祉施設大会や東北ブロック老人福祉施設協議会研修会および、福島県社会福祉協議会研修センター主催の各種研修会に積極的に職員を参加させ、職員の資質の向上および、利用者の皆さんの多様化する福祉ニーズに、対応・実践できる職員の育成に努めました。
- (6) 救護施設郡山せいわ園、きらきらげんき保育園との行事・研修等の職員間交流を行ない、職員間の情報の共有化と資質の向上に努めました。

8 予算経理について

予算経理の執行にあたっては、限りある予算を厳密に検討し、効率的な運用に努めました。

9 月別利用状況

(単位：名)

定員 74 名	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	平均
養護老人 ホーム	74	74	73	73	71	72	74	73	72	70	69	68	72
男:女 比	23:51	23:51	23:50	23:50	23:48	23:49	24:50	23:50	23:49	22:48	21:48	21:47	23:49

10 入退所状況

(単位：名)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
入 所			1		1	2			1	1		1	7
退 所		1	1	2			1	1	3	2	1		12

1 1 特定施設入居者生活介護施設 月別利用人数

(単位：名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
特定施設 入居者 生活介護 施設	21	21	20	22	22	22	24	23	23	21	21	21	22

令和元年度 希望ヶ丘訪問介護事業所 事業報告

希望ヶ丘ホームの利用者の方をはじめとして地域社会の介護を必要としている、要介護状態又は要支援状態にあるお客様に対して、多様なニーズに応じ介護保険制度上の適切な訪問介護サービスを提供し、住み慣れた地域で安心してその人らしい生活が継続できるよう「自立支援」と「生活の質の向上」を念頭に、職員が一体となり支援しました。

☆重点事項☆

1 在宅福祉の充実と、地域に密着した介護サービスの提供

- (1) 地域の介護保険情勢やニーズの把握に努め、お客様へよりよい介護サービスの提供に繋げるために、関係市町村・地域包括支援センター・地域の保健医療福祉サービス等と密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めました。

2 介護サービス提供と向上

- (1) お客様のニーズやアセスメントに基づいた計画書を作成し、計画に沿ったサービス提供を行いました。
- (2) 身体介護の提供にあたり、より安全かつ快適な介護サービスを提供するために、定期的な業務マニュアルの見直し及び業務改善を図りました。
- (3) 提供する介護サービスの評価やリスク等の分析等々を行い、質の高い介護サービスの提供に努めました。
- (4) 月に一度のモニタリングを行い、お客様のニーズ把握に努めました。

3 健全な事業所運営をするために

(1) 介護サービスの質の向上を目指すために

利用者の方からの苦情を解決するシステムやリスクマネジメントの取り組みを行い、サービスの質の向上に努めました。

これらを有機的に活用し、より質の高い介護サービスを継続的に提供できる仕組み作り、「問題後追い解決」から「課題先取り」ができるように努めました。

(2) 職員の資質の向上を目指すために

職員の専門性をより高めるために、職員の国家資格等の取得を推奨し、各種研修会への積極的な参加の促しや、内部での勉強会の機会を増やし、職員の資質の向上および、お客様の多様化する福祉ニーズに応える職員の育成に努めました。

4 月別利用状況

(単位：名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
希望ヶ丘訪問 介護事業所	21	22	20	24	22	19	23	23	22	20	21	23	22

令和元年度 きらきらげんき保育園 事業報告

当保育園は、児童福祉法第39条の規定に基づき、保育を必要とするお子さまの保育を行い、その健全な心身の発達を図ることを目的とする児童福祉施設であり、入園するお子さまの最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に増進することに最もふさわしい生活の場になるよう努力いたしました。

☆重点事項☆

- 1 保育に関する専門性を有する職員が家庭との緊密な連携の下にお子さまの状況や発達過程を踏まえ養護を一体的に行えるよう努めました。
- 2 お子さまの属する家庭や地域との様々な社会との連携を図りながら、保護者に対する支援及び地域の子育て、家庭に対する支援等に努めました。
- 3 連携施設と協力し、お子さま及び保護者に対する支援等に努めました。
- 4 **保育時間について**
通常保育の時間は、7時30分～18時30分までとし、延長保育(18時30分～19時30分)は、満1歳以上のお子さまを対象に保護者の勤務状況等により事前の申請でご利用いただきました。
- 5 **送迎について**
送迎は保護者の皆様にお願いし、保護者以外の方の送迎の場合は、必ず保育園へ事前に連絡を入れていただくようお伝えしました。連絡がなく、確認が取れないときは、お子さまを安易に引き渡すことなく、職員全員に周知し、対応しました。
- 6 **健康診断について**
 - (1) 嘴託医による内科・歯科の健康診断を年2回、6月・10月に行いました。
 - (2) 発育測定を毎月行い、健康カードで測定の記録をお知らせしました。
- 7 **感染症について**
感染症にかかった場合、出席停止期間または医師が登園しても差し支えないと認めるまで、保育することができないため、感染症が疑われる際には、病院を受診し保育園へ預けられるかを確認して登園するように保護者に周知徹底いたしました。

8 給食について

必要な栄養を摂取すると共にお子さまのからだや心の成長・発育・健康の保持増進のために、楽しい雰囲気の中で望ましい食習慣や栄養・衛生についての知識を身につけることを目的に、0歳児の月齢別の離乳食や1、2歳児の食事については個々に合わせて準備しました。

また、食物アレルギー等のあるお子さまには、かかりつけ医の指示に基づき、成長に合わせたアレルギー除去食等を準備し、細やかな対応に努めました。

9 緊急時の対応について

お子さまに病状急変等の緊急事態が発生した場合には、保護者の指定する医療機関及び緊急連絡先等へ速やかに連絡をおこなうよう努めました。

10 個人情報について

業務上知り得たお子さまおよび家族に関する情報については正当な理由がない限り第三者に漏らすことのないよう職員全員で周知徹底いたしました。関係機関へ情報提供をするにあたっては、個人情報使用同意書を提出いただいたうえで提供させていただきました。

11 地域社会との連携について

- (1) 地区民生児童委員等と連携を図り、地域ニーズの把握に努めました。
- (2) 近隣の社会福祉施設(郡山市更生園、希望ヶ丘学園、希望ヶ丘保育所、郡山市希望ヶ丘児童センター及び養護老人ホーム 希望ヶ丘ホーム)との交流を図り、地域社会との連携強化に努めました。

12 職員の資質向上及び人材育成について

- (1)職場内外の研修に参加し、専門的な知識・技術の習得に努めました。
- (2)職員一人ひとりが保育実践や保育の内容に関する共通理解を図り協働性を高めていけるように努めました。
- (3)救護施設 郡山せいわ園、養護老人ホーム 希望ヶ丘ホームとの行事・研修等の職員間交流を行い、職員間の情報の共有化と資質の向上に努めました。

13 予算経理について

予算経理の執行にあたっては、限りある予算を厳密に検討し、効率的な運用に努めました。

14 令和元年度 月別園児数

(単位:名)

クラス名	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
パンダ(0歳)	6	4	4	4	5	6	6	6	6	6	6	6	6	5
ウサギ(1歳)	6	7	7	7	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
コアラ(2歳)	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
合 計	19	17	17	17	19	20	20	20	20	20	20	20	20	19

*実施した主な行事は次の通りです。

月	行 事
4月	入園式・進級式、お花見
5月	端午の節句
6月	内科・歯科健診
7月	七夕会、プール開き・水遊び
8月	ウッドデッキ完成セレモニー 希望ヶ丘ホーム夏まつりご招待、プール納め
9月	お月見会、バスハイク旅行(那須どうぶつ王国)
10月	内科・歯科健診、総合防災訓練、保育参観 地域ふれあい事業(「劇団赤いトマト」様による人形劇鑑賞)
11月	七五三、 バスハイク旅行(げんきキッズパークにほんまつ)
12月	クリスマスお遊戯会
1月	子ども新年会
2月	節分
3月	ひなまつり、お別れ会、卒園式